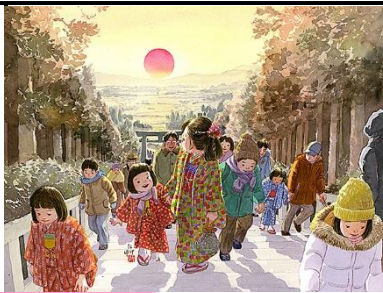


この子らと

令和5年1月号

命輝く子ども



わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男

謹賀新年

今年もよろしくお祈りします
2023年 元旦 卯



新年の幕開け、静かだった園内も子どもたちの笑顔と楽しげな声であふれています。

「一生の計は、少壮にあり」, 「一年の計は、元旦にあり」, 「一日の計は、朝にあり」です。日々新たなる気持ちで一日一日の教育・保育を充実させることで、一年の計を達成していきたいと思えます。

今年一年、未来に生きるこの子らの成長のために、園も職員も新たな決意のもとにがんばってまいりますのでどうか、よろしくお祈り申し上げます。

「チャンスは今」

「創める(はじめる)ことを忘れない人は、いつまでも若く、老いない」と言われています。

人はだれでも、ある程度年齢を重ねると新しいことに挑戦することをためらうようになります。理由は「せめて〇〇年、若かったら」です。しかし、時を経て振り返ってみて、「あの時、挑戦しておけば」と後悔することが多いです。

「明日ありと思う心のあだ桜、夜半に嵐が吹かぬものかも」親鸞聖人のお言葉です。明日は、どうなるかわからないのが人の世です。人生は、常に「今」をどう生きるか大切だとのお教えです。

「今年こそは」と、自らの可能性を信じ、挑戦し続ける一年でありたいと思う元旦の朝でした。

元旦の桜島



お正月で一句

正月の子どもになってみたきかな (小林一茶)
年玉を並べて置くや 枕元 (正岡子規)
去年今年 貫く棒のごときもの (高浜虚子)
餅花や 正月寒き 屋根の雪 (飯田蛇笏)



餅花は、奄美大島や伊佐市等で見られます。白・赤等の丸い餅玉を枝等にさして飾り、五穀豊穡を祈ります

“子どもたちの可能性は無制限”

子どもたち一人一人の可能性への挑戦が一つ終わりました。保護者の皆様には、子どもたちの姿はどのように映られたでしょうか。私には、一人一人の子どもが最善を尽くしてとても輝いてみえました。そして、職員もまた、強い職責感のもと、子どもたちの可能性を信じて、昼夜を問わず、頑張ってくれました。子どもたちと職員の努力、保護者の皆様方の温かい励ましに心から感謝申し上げます。



1月・2月・3月は「よい」のとき

3学期は、子どもたちが進級・進学にあたり4月1日に「どん」とスタートする大切な「よーい」の時です。新年にあたり、心を新たにしてお祈りしてまいります。

「日に新たやね。旧態依然はあかん」(松下幸之助)